

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設理念を記載した書面を職員全員に配布し、理念を共有し実践に活かしている。			職員一人一人が理念を把握し、共有しながら実践出来ている。新人職員にも理念に基づく支援方法を教えるながら、職員一同支援に努めていくよう、次年度の目標とする。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響のため、地域との交流は運営推進会議の場くらいになってしまっている。	コロナ禍の中でも町内会との連携は運営推進会議の中で強くできていると感じている。		現在、コロナ禍において地域交流が難しく参加することが出来ないので、次年度はコロナの状況にもよるが可能な範囲内で地域行事に参加・協力することを目標とする。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では、毎回参加された方々から様々な意見を頂いており、そこでいただいた意見を職員に周知しサービス向上に繋げている。	運営推進会議内できめ細かく報告がされており、職員間の中でも情報が共有されている。会議内の意見も参考にし、サービス向上に繋がっている。		運営推進会議でいただいた意見などを職員に共有できており、サービス向上に繋げられていると評価を頂き、次年度も引き続き、運営推進会議での意見をサービス向上に活かしていきたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なにか不明な点等があればすぐに市町村担当者へ相談・報告するなど連携を密に取るようにしている。また、運営推進会議や地域包括ケア会議の場にて良好な関係を築けるよう努めている。	運営推進会議並びにケア会議で積極的な意見交換が出来ている。事故報告についても速やかに行政報告がされており、良好な関係を築いている。		市町村との連携は良好な関係が築けていると思われる。次年度も良好な関係が継続できるよう努めていきたいと思う。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束防止委員会の開催と身体拘束防止についての勉強会を三か月に一度のペースで開催し、職員全員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	三ヶ月に一回のペースで身体拘束委員会、勉強会の開催を行っており、身体拘束について職員は理解できている。次年度も継続し、身体拘束をしないケアに取り組んでいけるよう会議や勉強会を行っていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止についての勉強会を年に2回～3回行っており、虐待防止に向け施設全体で取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止の勉強会を定期的に行い、職員に理解と予防を促している。次年度も引き続き、虐待のないケアに努めていけるよう虐待防止・予防の徹底を目標としていく。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護に関する制度については、管理者は理解しているが、職員は理解しているとは言えない。勉強会等で職員の理解を深めたい。			管理者は理解できているが職員は理解できているとは言えない。次年度の目標としては定期的な勉強会等を行い、理解を深めていきたい。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約に関する説明はある程度の時間をかけ丁寧に説明している。利用者やご家族様からの質問にも一つ一つ答え理解と納得を頂いている。			契約に関する説明は時間をかけ丁寧に行い、理解と納得を得た上で契約している。次年度の目標としても、現在の対応で行つていき、ご家族様からの理解・納得を得て契約していくことを継続していく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や運営推進会議の際に意見や要望の聞き取りを行っている。また、定期的にご家族へ電話での確認も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話や面会時に確認を行っており、苦情などではなく、感謝の言葉が聞かれている。次年度は電話や面会時のみではなく、アンケート等を実施し、ご家族様より多くのお言葉を頂き、意見を取り入れていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の全体会議の場や定期的な職員との面談を行い運営に関する意見や提案を聞いている。			毎月の全体会議やユニット会議などで意見や提案を出してもらい、運営に反映することができている。次年度はどの職員も提案や発言のしやすい環境作りを目標に掲げていく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、様々な職場環境や条件の整備を行っている。また、毎年の昇給、委員会や担当を持たせるなど、職員がやりがいや向上心を持つような取り組みも行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がやりがいや向上心を持てるよう、常に業務改善に努めている。施設内研修や勉強会は隨時行えているが、施設外研修はコロナ禍により行えていない。次年度の目標として、職員が更にやりがいや向上心を持つような取り組みを考慮し、職場環境や条件の設備に努める。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月施設内研修を実施し、各職員から研修報告書を提出してもらい知識や技術の向上に取り組んでいる。外部への研修はコロナの影響のため参加できていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修は研修実施委員会が中心に毎月行っており、職員の知識や技術の向上がされている。次年度の目標としては、コロナ禍だが外部研修にも積極的な参加を促していく。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている <b>C. あまりできていない</b> D. ほとんどできていない	新型コロナの影響のため同業者との交流もあまりできていないが、グループホーム協会への参加や地域包括ケア会議での意見交換によるネットワーク作りは行っている。			同業者との交流はあまり出来ていないが、包括ケア会議等で意見交換を行いネットワーク作りはできている。訪問診療時に医師や看護師からも意見等を頂き、サービスの質・向上に努める事ができている。次年度の目標としても継続ししていく。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<b>(A)</b> 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の尊厳を大切にし、職員にも常にそれを意識するよう指導している。職員と入居者は一つの家に暮らす家族のようなものであるということを意識し支援している。			個人の尊厳を大切にすると共に日々の会話や身体状況から気付きを見つけ、暮らしを共にする為に必要な支援を行えるよう努めていく。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている <b>(B)</b> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナの影響のため面会はなかなかできていないが、友人や知人と電話や手紙など、これまでの交流が途切れないよう家族と協力しながら支援している。	玄関でビニールカーテン越しでの面会の実施や、電話や手紙などでも交流が出来ている。コロナ禍での状況に合わせた支援を行っている。		コロナ禍で馴染みの人との交流が難くなっている。次年度の目標として、コロナの状況を見ながらだが交流を図れるよう工夫し対応していく。
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている <b>(B)</b> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族からの聞き取りを行っている。また、本人との普段の会話の中や表情など非言語コミュニケーションからも希望や意向を汲み取るようにしている。			日々のケアから一人ひとりの希望や意向を汲み取り、支援を行っている。認知面や ADL も常に変わっていくため、次年度の目標として、ケアの継続と変化にいち早く気付き対応していく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている <b>(B)</b> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係者が集まつてのサービス担当者会議がコロナのためできていないので、電話や書面を使っての各関係者からの意見の聞き取りを行っている。そして、介護計画作成に際しては、その意見やアイディアを反映するよう努めている。	認知症状により意思疎通が困難な方でも日頃のケアから本人の意向を汲み取り、利用者の心身の状況に合わせ長期目標や短期目標を作成されている。利用者個人について状態像がわかりやすく、介護計画に反映されている。職員の気付き、本人・ご家族の意向を取り組むことが重要。	<b>(A)</b> 充分にできている <b>(B)</b> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画の更新時は担当職員、家族からの要望も取り入れ作成しており、必要に応じ都度変更している。次年度の目標としても、常に変わる状況から介護計画の見直しが必要なため、一人一人に合ったサービスが提供できるよう取り組んでいく。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<b>(A)</b> 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録として日々の状態を記録している。また、申し送りノートを活用しながら、職員間で情報を共有し、実践や介護計画の見直しを図っている。		<b>(A)</b> 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	充分にできているので、次年度の目標としても引き続き継続していく。日々状態が変わっていくため、介護計画の見直しを図り、実践に活かしていく。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族とのコミュニケーションを密に図りニーズの把握に努めている。また、本人の体調の把握に努め、状態に合わせた柔軟な支援ができるよう努めている。	利用者一人一人に合った状態像をきちんと把握されており、状態の変化にも対応出来ている。		状態に合わせた柔軟な支援ができるよう努めているが、次年度の目標として、既存のサービスに捉われず多機能化に取り組み、サービスの向上を目指していく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人を支える家族や友人・知人など、活用できる地域資源の把握に努めている。また、残存機能を活かし、できることは自力で行ってもらうことで、心身の力が発揮できるよう支援している。	コロナ禍だから出来ないではなく、事業所として日々工夫されている。行事については、室内でのイベントの工夫、施設前で行うなどと状況に合わせて対応している。		コロナ禍での制限で地域資源との協働は出来ていない。コロナの状況によるが、心身の力が発揮できるよう支援を継続していく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連携している医療機関に体調管理を行ってもらっている。外科的な治療が必要なものについては都度外科への受診対応を行っている。			2つの協力医療機関と連携しており、24時間の対応が可能となっている。本人・ご家族様の希望に沿った対応が出来ている。今後も現在の対応を継続していく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ入院とならないよう体調管理に努めているが、入院が必要かどうかのときは、主治医・家族とよく相談し決めている。入院となったときは、早期に対応できる体制を整えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病状によっては協力医療機関の協力により、施設内でも治療が可能であり、入院が必要な場合でも他医療機関とも連携も取れており、入退院も問題なく行えている。今後も引き続き同様の対応を行っていく。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まずは契約の際に看取り介護について詳しく説明しその時点での意向の確認を行っている。入所後状態悪化が見られるときは、その都度話し合いを行い意向の確認を行ってから看取り介護同意書へ署名・捺印をもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・ご家族様の希望を聞き取り、詳しく説明を行い看取り介護を行っている。状態悪化時は都度主治医へ報告し、早期の看取り介護が行えている。看取り対応中も常に話し合い、ご家族からの要望にも対応できている。今後も個々に合った終末期を迎える事ができるよう対応を継続していく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時の対応については、全体会議の際など、全職員へ説明を行い対応できるよう指導している。年に数回施設内研修という形で急変時対応の勉強会も行っている。			急変時や事故発生時に備え、勉強会やマニュアル作成を行っている。急変時対応に慣れていない職員も多く、いざという時の対応が出来るよう、次年度も引き続き勉強会等を継続し対応していく。

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災に関するマニュアルを整備し職員へ周知させている。また、年に2回消防立ち合いのもと避難訓練を行っている。地域との協力体制は万全にできているとは言えず今後の課題である。	避難訓練もマンネリ化を防止するため、日時を設定せずに実施した実績があり、大工夫されている。火災のみならず、他の自然災害を想定した訓練や、地域の方(町内会)も参加できるような工夫も必要と考える。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災の避難訓練は良い評価をいただいている。災害は火災だけではないので、他の自然災害を想定した訓練や地域の方も参加できるような訓練もできるよう、今後の目標として検討し、調整や勉強会を開催する。
<b>III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉かけについては、全体会議や日常の業務の中で都度指導を行っている。できていない職員や場面も若干見られるので今後指導を強化していきたい。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合った言葉かけができるよう職員に都度指導している。認知症状により不穏な言動になる事があるが、一人ひとりの人格を尊重した対応ができるよう、今後もしっかりと指導を行っていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人手不足や忙しいときもあるが、できる限り施設側・職員側の都合を優先しない介護を目指すよう職員への指導を行っている。			できる限り一人ひとりの希望や意向に沿った支援を行うよう職員への指導を行っている。今後も認知症についての勉強会を行い、理解を深め知識を増やし、より良い支援の提供を行っていく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行や身体機能の低下が著しい利用者が多いため、一緒に準備や片付けはあまりできていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・おやつレク時にそれぞれの能力に合わせ、全員が参加できるように工程を工夫しながら行っているが、どれにも参加できない方もいるので今後も全員が参加できるような工程を考慮して行っていく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・水分摂取量について、記録用紙に記載し、利用者一人一人にあつた摂取量が確保できるよう支援している。			個々に合った摂取量を確保できており、記録用紙を使用し摂取量の把握もできている。月に一度の体重測定からも増減を把握し、早期に主治医へ相談している。今後も継続していく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアについては、忘れている利用者については、毎食後声掛けにて行ってもらっている。自力で行えない利用者については、一部介助や全介助にて支援をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行っていただいており、声掛けができる限りご自分で行って頂いている。自力で行えない方は職員が介助行い、誤嚥性肺炎の軽減に努めている。今後も支援を継続していく。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尿意や便意のない利用者へは、時間を見ながら声掛けしトイレへの誘導を行っている。オムツ使用は最後の手段として、できる限りトイレで排泄ができるよう支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄表を使用し、排泄パターンを把握し対応行っている。便秘時には下剤で調整行っている。状態によりトイレでの排泄が難しくなっても、できる限り職員の介助にてトイレで排泄ができるよう支援を行っている。今後も継続した対応を行っていく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人手不足や浴槽の作り(大きすぎる)が主な原因となり、施設側で入浴日を決めて支援しているという状態が続いている。現在は毎週2回、火曜日と金曜日が入浴日である。		入浴日や時間が決められている。その為、入浴される順番等考慮しながら対応している。今後も継続し、個々に合った支援方法を都度話し合い、考えながら提供していく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々の身体状態に応じて日中は昼寝の時間を設けたり、就寝時間もご本人のこれまでの生活習慣を考慮しながら支援している。寝れないような状態のときは睡眠薬の調整なども医療に依頼している。		身体状態に応じて休息時間を設けている。体調不良時や自分で休息できない方は職員の判断にて休息していただいている。不眠時は主治医へ相談し、薬の調整も依頼している。今後も一人ひとりにあった休息の対応を行っていく。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者が薬の目的や副作用について十分に理解しているとは言えないが、個人ファイルに薬情報の用紙を綴っており、利用者に代わり職員が薬の使用目的や副作用等を十分に理解できるようにしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情ファイルを作成し確認できるようにしている。処方変更時も職員の連絡ノートなど使用し、情報の共有を行っている。今後も継続し対応していく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のレクリエーションや毎月の行事など、少しでも気分転換ができるよう支援している。また、洗濯物片付けや食器拭きなど、残存機能を活かし、役割や遣り甲斐を感じてもらえるよう支援している。	室内の模様替えについて、利用者と一緒にに行う事で、四季の移り変わりが感じ取れるように五感に刺激を与えて過ごされている。認知・ADLに合わせた工夫や、新たな楽しみを見出せる提案等も必要。	日々のレクリエーションや毎月の行事、飾りつけ等で五感に刺激を与える事が出来ている。今後も継続した対応を行い心身の活性化へ繋げる支援の提供に努めていく。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウィルスの感染拡大の影響のため、外出はほとんどできていない。現状は施設での大きな行事(紅葉ドライブや花見)の	コロナ情勢を考慮し、庭先での行事活動も行えており、気分転換を図ることが出来ている。	コロナ禍により外出が出来ない状況なため、行事を工夫し施設前の屋外で行っている。今後もコロナの状況によるが、外出しなくても気分転換で

		人々と協力しながら出かけられるように支援している		ときの外出くらいになってしまっている。			きるような行事の企画を提供していく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には大きな金額の金銭は所持していただかないことになっているが、ご本人やご家族の希望にて小銭程度の金額であれば所持していただいている。			金銭の管理能力を見極め、小銭程度の金額を所持していただきたい。大きい金額は事務所で管理し、必要時や訴え時に使用されている。今後も継続した対応を行っていく。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が希望したときは、事務所にある電話にてご家族と話をしてもらっている。手紙のやりとりはほとんどしていない。			コロナ禍ということもあり、今後も面会は難しい状況が続くと思われるので、家族等との手紙や電話でのやり取りが十分にできるよう支援ていきたい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全館バリアフリー対応にしており、廊下やトイレには手すりを設置している。居室前にはご本人が自分の部屋だとわかるよう表札を掲示している。共用空間であるホールには季節ごとに飾り付けを行い季節感を感じてもらえるよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も入居者一人一人が安心・安全・安楽な生活が送れるよう支援を行っていきたい。また、季節感や生活感を十分に感じてもらえるよう様々な工夫も行っていきたい。
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いや意向を汲み取ったケアプランを作成し、それに沿って職員全員で統一したケアを行っており、ある程度は本人の望む暮らしを支援できていると思う。			今後も本人の思いや意向が日々の暮らしに反映されるよう支援を行っていきたい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴や習慣については、本人や家族からよく聞き取りを行い施設での生活に活かしている。友人関係など昔からの縁については、電話などで話す機会を設けている。			今後も本人と馴染みのある友人や知り合いとの交流を支援していきたい。また、本人の生活習慣や特徴もしっかりと把握し支援を行っていきたい。

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安全面・環境面について、まずはアセスメントをしっかりと行い適切な支援に繋げている。健康面・医療面については、連携している医療との連携をしっかりと図ることでケアしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も入居者一人一人の健康面・医療面・安全面・環境面のアセスメントをしっかりと行い支援を行ってていきたい。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアに当たる職員全員がその方の生活歴や生活習慣の情報把握をしっかりと行うことで、ある程度本人のペースで生活できるよう支援している。			今後も入居者一人一人が自分のペースで生活できるよう最大限の支援を行ってていきたい。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔から使っている物を居室に置いたり、大事にしている写真など見える場所に置くなどの配慮をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も本人が使っていた物を居室に置いたり、大事にしている写真など見える場所に置くなどの配慮を継続してていきたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染拡大の影響のため外出はほとんどできていないというのが現状である。	室内行事や庭先での行事を積極的に行っている。今後も室内行事を継続し、コロナの状況みて、以前の様に庭先での行事、ドライブなどを実施。		新型コロナの影響はまだ続きそうだが、感染の拡大状況を見ながらではあるが、できるだけ外に行ける機会を増やしてていきたい。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わからること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行により個人差があるため、役割を感じたり楽しみごとを行うことができる利用者、できない利用者がいるというのが現状である。			入居者一人一人の認知機能や身体機能を的確に把握し、各入居者のできることやできないことを見極め、各自にあった支援を行ってていきたい。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者との会話、レクリエーションへの参加、家事作業のお手伝いなど、利用者一人一人に合った活動場面を持てている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションや各種行事への参加の支援や、入居者同士が円滑なコミュニケーションを図れる環境を今後多く提供してていきたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナの影響もあり地域との交流はほとんどできていない。現在は運営推進会議の際に地域の人と多少交流するくらいである。	運営推進会議に地域の方、利用者のご家族も参加されている状況で、面識のある利用者は地域とつながりを持ち、回想することが出来ている。		新型コロナの影響は今後も続くが、地域との交流ができるだけ可能となるよう最大限の支援を行ってていきたい。

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員とは馴染みの関係が築けており、家庭的な雰囲気の中で生活することで、安全感のある生活を送ことができている。</p>	<p>職員の人柄も穏やかで、利用者も安心して過ごすことが出来ている。地域の方々より信頼されており、コロナ禍だが地域活動も積極的に行っていれる。人材不足についても、外国人実習生を積極的に受け入れ、最小限にとどめる事が出来ている。引き続き、利用者第一に考えていけば、利用者も安心した日々を過ごすことが出来ると思います。</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>このグループホームにおいて、今後もすべての入居者が安心して生活できるよう、コミュニケーションを密に図り、また、地域の人の協力も得ながら、総合的な支援を継続的に行っていきたい。</p>
----	----	--	---	---	---	---	--